

(様式例第11)

県 薩 病 第 4 7 号
令 和 元 年 1 0 月 4 日



鹿児島県知事 殿

住所 鹿児島市鴨池新町10番1号
申請者
氏名 鹿児島県知事 三反園 訓



鹿児島県立薩南病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成30年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
氏名	鹿児島県知事 三反園 訓

2 名称

鹿児島県立薩南病院

3 所在の場所

〒897-1123 南さつま市加世田高橋1968-4

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合 計
床	4床	20床	床	151床	175床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 2 床 人工呼吸器, 生体維持監視モニター, 除細動器, 心電図, 超音波診断装置
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置, 自動血球測定装置, 自動凝固測定装置
細菌検査室	(主な設備) 電気ふらん器, 安全キャビネット
病理検査室	(主な設備) システム生物顕微鏡, 自動染色装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台
研究室	
講義室	(主な設備) 音響設備, ビデオプロジェクター, スクリーン
図書室	室数 1 室 蔵書数 300冊程度
救急用又は 患者搬送用自動車	保有台数 1 台
医薬品情報管理室	床面積 25.8㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	54.4%	算 定 期 間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	120.0%		
算出根拠	A：紹介患者の数		1,956人
	B：初診患者の数		3,598人
	C：逆紹介患者の数		4,317人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師	三枝 伸二	常勤 専従	8:30~17:15	
2	医師	大橋 保	常勤 専従	8:30~17:15	
3	医師	田中 裕之	常勤 専従	8:30~17:15	
4	医師	堂福 慶吾	常勤 専従	8:30~17:15	
5	医師	小藺 雅哉	常勤 専従	8:30~17:15	
6	医師	川畑 活人	常勤 専従	8:30~17:15	
7	医師	吉重 祐介	常勤 専従	8:30~17:15	
8	医師	松本 洋之	常勤 専従	8:30~17:15	
9	医師	樋渡 清司	常勤 専従	8:30~17:15	
10	医師	安藤 慶	常勤 専従	8:30~17:15	
11	医師	保坂 優斗	常勤 専従	8:30~17:15	
12	医師	原田 治	常勤 専従	8:30~17:15	
13	診療放射線技師	餅原 信広	常勤 専従	8:30~17:15	
14	診療放射線技師	榮村 仁史	常勤 専従	8:30~17:15	
15	診療放射線技師	久保 ゆかり	常勤 専従	8:30~17:15	
16	診療放射線技師	渡 孝二郎	常勤 専従	8:30~17:15	
17	診療放射線技師	荒田 恭平	常勤 専従	8:30~17:15	
18	臨床検査技師	大迫 勝美	常勤 専従	8:30~17:15	
19	臨床検査技師	有馬 忠行	常勤 専従	8:30~17:15	
20	臨床検査技師	前之原 義人	常勤 専従	8:30~17:15	
21	臨床検査技師	堀 良子	常勤 専従	8:30~17:15	
22	臨床検査技師	江上 護	常勤 専従	8:30~17:15	
23	臨床検査技師	猜都 光郎	常勤 専従	8:30~17:15	
24	薬剤師	今奈良 明人	常勤 専従	8:30~17:15	
25	薬剤師	小磯 孝幸	常勤 専従	8:30~17:15	
26	薬剤師	大田 哲也	常勤 専従	8:30~17:15	
27	薬剤師	江下 聡美	常勤 専従	8:30~17:15	
28	薬剤師	有西 聡美	常勤 専従	8:30~17:15	
29	看護師	橋口 初子	常勤 専従	8:30~17:15	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
30	看護師	川村 文子	常勤 専従	8:30~17:15	
31	看護師	小宮 美由紀	常勤 専従	8:30~17:15	
32	看護師	今村 奈保子	常勤 専従	8:30~17:15	
33	看護師	運 美智子	常勤 専従	8:30~17:15	
34	看護師	松野下 里美	常勤 専従	8:30~17:15	
35	看護師	春田 美智代	常勤 専従	8:30~17:15	
36	看護師	竹之内 美紀	常勤 専従	8:30~17:15	
37	看護師	中尾 都紀子	常勤 専従	8:30~17:15	
38	看護師	上村 麗子	常勤 専従	8:30~17:15	
39	看護師	前野 亜優美	常勤 専従	8:30~17:15	
40	看護師	内宮 志保	常勤 専従	8:30~17:15	
41	看護師	松山 一美	常勤 専従	8:30~17:15	
42	看護師	鮫島 美雪	常勤 専従	8:30~17:15	
43	看護師	新町 粹央	常勤 専従	8:30~17:15	
44	看護師	山之内 千草	常勤 専従	8:30~17:15	
45	看護師	春園 寛朗	常勤 専従	8:30~17:15	
46	看護師	窪田 洲香	常勤 専従	8:30~17:15	
47	看護師	阿部 瞳	常勤 専従	8:30~17:15	
48	看護師	佐藤 朋子	常勤 専従	8:30~17:15	
49	看護師	南 美和子	常勤 専従	8:30~17:15	
50	看護師	中窪 美穂	常勤 専従	8:30~17:15	
51	看護師	宮田 かよ子	常勤 専従	8:30~17:15	
52	看護師	板敷 真由美	常勤 専従	8:30~17:15	
53	看護師	東全 比野智美	常勤 専従	8:30~17:15	
54	看護師	小濱 智美	常勤 専従	8:30~17:15	
55	看護師	草野 祥子	常勤 専従	8:30~17:15	
56	看護師	米原 さとみ	常勤 専従	8:30~17:15	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	10床
専用病床	2床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
手術室(3室)	83㎡	主な設備：手術台、無影灯、麻酔器、ポータブルX線撮影装置、モニター監視テレビ、電気メス、除細動器、超音波診断装置、シリンジポンプ、高周波手術装置、超音波凝固切開装置、腹腔鏡手術システム、体温維持装置	可
救急処置室	35㎡	主な設備：人工呼吸器、生体維持監視モニター、超音波ネブライザー、超音波診断装置心電図、除細動器、シリンジポンプ、輸液ポンプ	可
集中治療室(CCU)	35㎡	主な設備：人工呼吸器、生体維持監視モニター、除細動器、心電図、シリンジポンプ、輸液ポンプ	可

4 備考

救急告示病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	585人 (447人)
上記以外の救急患者の数	606人 (196人)
合計	1,191人 (643人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療，研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用（会議室利用）	24件
-------------	-----

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において，当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数，これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数，共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

全ての建物，設備，器械，器具

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部，設備，器械又は器具のうち，共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 無
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名 大橋 保
職種 医師

(注) 共同利用に関する規程がある場合は，当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

別紙 (様式例第14)

4 登録医療機関の名簿

No.	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
1	真愛病院	医療法人 真愛みどり会	南さつま市加世田東本町7-3	整形外科・リハビリテーション科	無
2	眼科安田クリニック	医療法人 明誠会	南さつま市加世田東本町9-6	眼科	無
3	有馬病院	医療法人 椎原会	南さつま市加世田地頭所570	内科・外科・整形外科・神経内科・リハビリテーション科	無
4	友松内科クリニック	医療法人 起生会	南さつま市加世田村原1-7-6	内科・消化器科・循環器科・放射線科	無
5	金子医院	金子 和豊	南さつま市加世田唐仁原6025	内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・放射線科	無
6	吉井クリニック	医療法人 吉井クリニック	南さつま市加世田村原2-2-7	形成外科・皮膚科・美容外科	無
7	徳久整形外科	医療法人 徳和会	南さつま市加世田白亀1285-1	整形外科・リウマチ科・理学診療科	無
8	青木医院	青木 伸一	南九州市颯娃町別府317	内科	無
9	野間池診療所	南さつま市	南さつま市笠沙町片浦15378	内科	無
10	吉見医院	吉見 梓	南さつま市大浦町7483	内科	無
11	崎山内科クリニック	崎山 修	南さつま市加世田唐仁原5323	内科	無
12	かりや内科クリニック	仮屋 雅仁	南九州市川辺町平山6806	内科	無
13	唐仁原内科クリニック	唐仁原 貴	南さつま市加世田東本町32-16	内科・消化器科・循環器科	無
14	枕崎こどもクリニック	中園 伸一	枕崎市松之尾町15	小児科・アレルギー科	無
15	東外科胃腸科医院	東 剛造	南九州市川辺町平山3414	外科・胃腸科・リハビリテーション科	無
16	有山内科	有山 尊郎	枕崎市鹿籠麓町33	内科・循環器科	無
17	阿久根医院	阿久根 亨	南さつま市加世田小湊8640	内科	無
18	枕崎市立病院	枕崎市	枕崎市日之出町230	内科	無
19	牧角医院	牧角 格	南さつま市加世田本町30-6	泌尿器科・皮膚科	無
20	なかやま脳神経外科	中山 正基	南さつま市加世田東本町12-4	脳神経外科・神経内科・心療内科・リハビリテーション科	無
21	茅野内科医院	茅野 哲郎	枕崎市住吉町41	内科・胃腸科・循環器科・小児科	無
22	はしぐちクリニック	橋口 真也	南さつま市加世田東本町14-14	内科・胃腸科・糖尿病内科	無

No.	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
23	溝口クリニック	溝口 亮	枕崎市住吉町48	呼吸器科・内科	無
24	ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック	福岩 達哉	南さつま市加世田本町22-5	耳鼻咽喉科	無
25	江平クリニック	江平 征郎	南九州市知覧町郡17810-1	胃腸科・内科・消化器科・放射線科・リハビリテーション科	無
26	加世田シティー内匠眼科	内匠 新吾	南さつま市加世田東本町31-6	眼科	無
27	上原整形外科クリニック	医療法人 裕祥会	南九州市川辺町永田1593	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	無
28	南さつま中央病院	楠元 慶明	南さつま市加世田本町37-4	内科・外科・胃腸科・肛門科・婦人科・麻酔科	無
29	酒瀬川医院	医療法人 酒瀬川医院	南さつま市加世田津貫5984	内科	無
30	小田代記念クリニック	医療法人 恵徳会	南九州市知覧町郡5236-2	内科・消化器科・循環器科・放射線科・眼科・外科・整形外科・リハビリテーション科	無
31	大迫医院	医療法人 孝仁会	南さつま市笠沙町片浦1254	内科・胃腸科・循環器科・放射線科・小児科・リハビリテーション科	無
32	小山クリニック	医療法人 小山クリニック	南さつま市金峰町尾下354	内科・放射線科	無
33	かわなべ共立内科	医療法人 雅集会	南九州市川辺町田辺田3971	内科・呼吸器科・消化器科・循環器科	無
34	清小児科	医療法人 こどもの基地	南九州市川辺町平山3778-1	小児科	無
35	神園ひふ科クリニック	神園 政行	枕崎市千代田町22	皮膚科	無
36	松岡医院	松岡 秀隆	南さつま市加世田唐仁原6027	耳鼻咽喉科・気管食道科	無
37	宮内クリニック	医療法人 宮内クリニック	南さつま市金峰町池辺2834	泌尿器科・循環器科・内科	無
38	こだま病院	医療法人 蒼風会	南九州市川辺町田部田3525	精神科・内科・神経科	無
39	西田医院	西田 保馬	南さつま市金峰町宮崎4350	内科	無
40	立神リハビリテーション温泉病院	医療法人 厚生会	枕崎市火之神町620	内科・リハビリテーション科	無
41	南薩ケアほすびたる	牧角 浩史	南九州市川辺町平山5860	内科	無
42	尾辻病院	医療法人 二三和会	枕崎市住吉町60	麻酔科・外科・リハビリテーション科	無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

開催日	研修内容	対象者	参加者	
			院内	院外
H30. 4. 3	南薩地区透析勉強会 「高齢透析患者さんの栄養管理について」 「透析領域を中心とした2018年度診療報酬改定のポイント」	看護師 M E	18	15
H30. 5. 15	さつなん看護セミナー（1回目） 「褥瘡の評価と看護ケア」	看護師	6	40
H30. 5. 24	南薩地区透析勉強会 「透析液の組成とその意味」	看護師 M E	6	16
H30. 5. 26 ～27	がん緩和ケア研修会	医看護師 理学療法士	0	7
H30. 5. 29	外科症例検討会	医看護師	6	7
H30. 6. 9	南薩地域第1回リハビリテーション部門 研修会 「やる気を引き出す言葉かけ」	看護師	6	60
H30. 6. 12	第1回NST全体研修会 「嚥下障害への対応」	看護師 栄養士 歯科衛生士	35	2
H30. 7. 7	南薩心臓疾患研究同好会	医師	3	14
H30. 7. 10	緩和ケア関連研修会 「オキシシンコンチンTR錠、スインフロ イク錠について」 「緩和ケアの基本」 「調剤薬局における緩和ケアの現状」	薬剤師	5	14
H30. 7. 26	南薩地域透析勉強会 「パーサピブについて」	看護師 M E	6	24
H30. 8. 21	さつなん看護セミナー（2回目） 「がん疼痛看護の基礎編」	看護師	3	10
H30. 8. 23	南薩地域透析勉強会 「よりよい透析医療を目指して」	看護師 M E	7	14

開催日	研修内容	対象者	参加者	
			院内	院外
H30. 9. 18	さつなん看護セミナー（3回目） 「事例からがん性疼痛を考える」	看護師	9	9
H30. 9. 21	外科症例検討会	医 看護師	7	5
H30. 9. 22	ELNEC-J in薩南 「エンドオブライフケアを提供する看護師のための教育」	看護師	3	19
H30. 9. 29	放射線技師会南薩地域研修会 「くも膜下出血に対するコイル塞栓術」 「腰椎立位X線撮影についての検討」	放射線技師	5	32
H30. 10. 21	南薩地区透析勉強会 「透析患者さんの食事療法」	看護 M E	15	28
H30. 11. 9	臨床検査技師南薩地区研修会 「最近の輸血事情」	臨床検査技師	5	21
H30. 11. 20	さつなん看護セミナー（4回目） 「からだで覚える感染対策」	看護師	49	5
H30. 11. 27	外科症例検討会	医 看護師	7	6
H30. 11. 28	地域がん医療研修会 「緩和ケア診療の最近のトピックス」 「腫瘍医と循環器医との大切なコラボレーション」	全職種	27	23
H31. 2. 13	南薩心臓疾患研究同好会	医師	3	18
H31. 2. 15	南薩地域医療福祉施設交流会	全職種	18	67
H31. 3. 19	さつなん看護セミナー（5, 6回目） 「慢性腎臓病について」 「緩和ケアについて」	看護師	4	19

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	24回
(2) (1) の合計研修者数	695人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有

イ 研修委員会設置の有無 有

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
三枝 伸二	医師	外科	院長	34年	
大橋 保	医師	内科	副院長兼内科部長	38年	
田中 裕之	医師	内科	総合診療科部長	21年	
小藪 雅哉	医師	内科	消化器内科部長	15年	
吉重 祐介	医師	内科	循環器内科部長	17年	
樋渡 清司	医師	外科	外科部長	21年	
原田 治	医師	放射線科	放射線科部長	34年	
今城 峰	看護師	看護部	総看護師長	35年	
中村 昭子	看護師	看護部	副総看護師長	35年	看護教育責任者
内村 秀樹	事務		事務長		
松本 卓郎	事務	総務課	事務次長		教育責任者

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
大会議室	157㎡	主な設備：音響設備、ビデオプロジェクター
小会議室	54㎡	主な設備：
看護研修室	36㎡	主な設備：

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院 長	三枝 伸二
管理担当者氏名	事務次長 副総看護師長 経営課長 総務係長 経営係長 診療情報管理士	松本 卓郎 中村 昭子 有村 康治 上野 瑞恵 新 浩二郎 有島 倫子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		(カルテ) カルテ庫及び カルテ保管庫 (カルテ以外) 各事務所管部署 及び文書保存庫	(カルテ) 1患者1IDによるターミナルデジタル方式で分類 (カルテ以外) 県文書管理規程に基づき分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	年度別に整理
	救急医療の提供の実績	経営課	年度別に整理
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	経営課	年度別に整理
	閲覧実績	経営課	年度別に整理
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	年度別に整理

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務長 事務次長	内村 秀樹 松本 卓郎
閲覧担当者氏名	総務係長 経営係長	上野 瑞恵 新 浩二郎
閲覧の求めに応じる場所	(情報公開窓口) 総務課, 経営課	

前年度の総閲覧件数		5件
閲覧者名	医 師	
	歯 科 医 師	
	地 方 公 共 団 体	
	そ の 他	5件

(注) 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回
委員 会 に お け る 議 論 の 概 要	
平成30年度 第1回地域医療支援病院運営委員会	
1 日 時 平成30年9月3日	
2 場 所 県立薩南病院 大会議室	
3 出 席 南薩医師会, 枕崎市医師会, 南薩歯科医師会, 南薩薬剤師会 南薩地域振興局, 南さつま市, 南さつま市消防本部, 枕崎市消防本部, 指宿南九州消防組合消防本部 病院 (院長, 副院長, 総看護師長, 事務長, 医局長)	
4 協 議	
○ 病院より次の項目について説明	
・ 患者数の動向 (患者数, 病床利用率, 平均在院日数, 手術件数の状況等)	
・ 市町村別の患者動向	
・ 救急患者の受入状況	
・ 紹介率・逆紹介率	
・ 地域医療従事者を対象とした研修会	
・ 地域医療連携室の活動実績	
○ 主な協議内容	
・ 救急車搬送患者について	
・ 研修について	
・ 医科歯科連携について	
・ 訪問診療について	
平成30年度第2回地域医療支援病院運営委員会	
1 日 時 平成31年3月8日	
2 場 所 県立薩南病院 大会議室	
3 出 席 南薩医師会, 枕崎市医師会, 南薩歯科医師会, 南薩薬剤師会 南薩地域振興局, 南さつま市, 南さつま市消防本部, 枕崎市消防本部, 指宿南九州消防組合消防本部 病院 (院長, 副院長, 医局長, 総看護師長, 事務長)	
4 協 議	
○ 病院より次の項目について実績を説明	
・ 患者数の動向 (患者数, 病床利用率, 平均在院日数, 手術件数の状況等)	
・ 市町村別の患者動向	
・ 救急患者の受入状況	
・ 紹介率・逆紹介率	

- ・ 地域医療従事者を対象とした研修会
- ・ 地域医療連携室の活動実績
- 主な協議内容
 - ・ 救急患者について
 - ・ 研修について
 - ・ 在宅復帰について

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療福祉相談員
患者相談件数	3, 678件
患 者 相 談 の 概 要	
福祉相談	271件
一般相談	412件
がん相談	909件
入院受入相談	88件
退院支援相談	1,569件
退院調整	407件
合計	3,678件
<p>(講じた対策等)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 院内関係セクションと連携し、スムーズな退院支援が行えるよう早い段階からの相談対応、各種福祉制度の説明等具体的支援を行った。・ 必要に応じ関係行政機関、医療・介護機関と連携し、十分な回答が得られるよう対応した。・ 相談対応時のスキル向上のため、研修会へ積極的に参加した。	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。

(様式例第20) その他の地域医療支援病院に求められる取組に関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
・ 評価を行った機関名, 評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 H30. 10. 20 (一般病院2) 3rdG: ver. 2.0	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については, 日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・ 情報発信の方法, 内容等の概要 ホームページによる診療内容の案内や指標の公表 広報誌発行 (2か月に1回) による情報発信 市民講座開催による地域住民へのPR	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有
・ 退院調整部門の概要 地域医療連携室: 平成22年4月1日設置 室長 (放射線科部長兼務), 副室長1 (看護師長), 看護師1, 社会福祉士1, 非常勤職員2	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの種類・内容	有
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 県内統一の地域連携クリティカルパスの使用 (肺・大腸・胃・乳房・肝臓) ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 医療関係者や市民向けの研修会の開催	